

### 3 学校の教育目標

本校は、教育基本法並びに学校教育法の定める教育の目的及び目標に沿って、知・徳・体の調和のとれた人格の完成を目指し、21世紀を担う心身ともに健全な児童の育成に努めるため、次のように教育目標を設定しその具現化に努める。

- |               |     |
|---------------|-----|
| ◎ 自ら学び考え行動する子 | (知) |
| ◎ 思いやりのある子    | (徳) |
| ◎ 明るく健康な子     | (体) |

#### (1) 教育目標と教育指標

##### ◎ 自ら学び考えて行動する子 (知育)

- |                             |
|-----------------------------|
| ☆ 人の話をしっかり聞くことができる子。(凡事徹底1) |
| ○ 学習の仕方がわかる子                |
| ○ めあてを持ち主体的な学びができる子         |
| ○ よく考え進んで学習する子              |
| ○ 自分なりの考えを持ち表現できる子          |
| ○ 夢や目標を持ちその実現に努力する子         |

##### ◎ 思いやりのある子 (徳育)

- |  |
|--|
| ☆ 誰にでも進んであいさつができる子 (凡事徹底2)                 |
| ☆ 基本的な生活習慣が身についている子<br>(早寝・早起き・朝ごはん 凡事徹底3) |
| ○ 情操が豊かな子                                  |
| ○ 助け合うことができる子                              |
| ○ やさしく、ていねいな言葉づかいができる子                     |
| ○ 善悪の判断が正しくできる子                            |
| ○ 人や自然、ものを大切にする子                           |

##### ◎ 明るく健康な子 (体育)

- |                              |
|------------------------------|
| ☆ 明るく元気な返事ができる子 (凡事徹底4)      |
| ○ 活発でだれでとでも仲良く遊べる子           |
| ○ 自分の健康を考えることができる子           |
| ○ 最後までねばり強く物事に取組む子           |
| ○ 日常的な危険を回避し、自他の生命を守ることができる子 |
| ○ 積極的な活動、安全で規律ある行動ができる子      |
| ○ 体力がある子                     |

(2) 教育目標の具体化

段階 教育目標	低 学 年	中 学 年	高 学 年
自ら学び、 考え行動す る子	めあてをもち、進 んで学習する子	めあてを持ち、主体 的な学びができる子	自分なりの考えを 持ち、工夫し行動す ることができる子
思いやりの ある子	助け合うことがで きる子	やさしく、ていねい な言葉づかいができる子	善悪の判断が正し くできる子
明るく健康 な子	活発でだれとでも 仲良く遊べる子	健康に気をつけ、体 をきたえる子	自分の健康に関心 をもち、進んで体力 づくりができる子

(3) 凡事徹底事項

<p>(1) 人の話をしっかり聞くことができる。</p> <p>(2) だれにでも進んであいさつができる。</p> <p>(3) 早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身につけることができる。</p> <p>(4) 明るく元気な返事ができる。</p> <p>(5) はき物をきちんとそろえることができる。</p> <p>(6) 使った物をもとの場所にもどすことができる。</p>
---

(4) 本校がめざす教育の姿

- ① めざす児童の姿
  - 挑戦・努力・変化し、成就感・自己肯定感をもつ児童
- ② めざす学校の姿
  - 安心・安全な学校
  - 夢や目標に火種を灯し、育てる学校
  - 豊かな学びを育む学校
- ③ めざす管理職の姿
  - 学校経営理念・学校教育目標の具体化・具現化の構築を図る管理職。
  - 教職員や保護者・地域の個性を生かし、組織体制の構築を図る管理職。
- ④ めざす教職員の姿
  - 夢や希望の種をまき、育てる教職員
  - 社会の形成者としての意識を育て、社会への貢献を導く教職員
  - 授業力の向上のために、日々研鑽する教職員
  - 児童や保護者、地域と積極的に関わり、開かれた学級・学校づくりに取り組む教職員
- ⑤ こうありたい保護者の姿
  - 子どもの規範意識を育てる保護者
  - 子どもの夢や目標をはぐくみ、道しるべとなる保護者
  - 学校・地域の教育活動に参画し、自らの成長を目指す保護者
- ⑥ こうありたい地域の姿
  - 安全・安心な学校・地域づくりに取り組む地域
  - 部落や地域事業所等のネットワークを構築し、子どもを守り育てる地域

#### 4 本年度の重点目標・・・新教育課程の確実な実践

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけさせるとともに、それらを活用した、思考力、判断力、表現力などを育成する。
- (2) 命の大切さや思いやりの心、善悪の判断や公共心などの規範意識、正義感や公正・公平を重んじる心、美しいものに感動する豊かな感性、自立心、自己抑制力、共生の心など、「豊かな心」を道徳の授業を要として、全教育活動で育成する。
- (3) 生きる力を支える体力の向上のため、家庭や地域社会との連携を図り、自ら進んで運動に親しむと共に健康で安全に過ごす資質や能力を全教育活動で育成する。

#### 5 指導の重点

##### (1) 学校教育目標との関連

教育目標	指導の重点 <input type="checkbox"/> 強化事項
自ら学び考える子	<p>基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけさせるとともに、それらを活用した、思考力、判断力、表現力などを育成する。</p> <p>① 授業力の向上により、確かな学力の定着を図る。            ア 学習用具の準備や学習のさまり等の学習規律の確立            イ 全教科において、問題解決的な学習の推進充実            ウ 国語科において言語活動の中核を担いながら、各教科において言語活動の充実を図る。            エ 学習内容において、T T、習熟度に応じた指導、個別指導、グループ指導、繰り返し指導などのきめ細かな指導の推進            オ 地域人材を活用し、児童の興味関心を高める授業づくりの推進            カ 週案による計画的な教育課程の実施 (毎週月曜日提出)</p> <p>② 読書指導・図書館教育の充実            ア 全校一斉の朝の読書・読み聞かせ・<u>学年に応じた必読書への取り組み</u>・図書館利用等の推進・充実            イ 読み聞かせサークル等との連携充実</p> <p>③ 夢や目標の育成            ア キャリア教育の全体計画に基づいた、学習プログラムの実践            イ 各教科・領域の指導計画のキャリア教育の観点に基づいた授業の実践            エ その道のプロなどの人材を授業に活用し、生き方指導につなげる。(出前授業等の積極的な活用)</p> <p>④ 環境教育の充実を図る。            ア <u>各教科・領域での計画的取り組み</u>            「授業に活かす環境教育一ひとめでわかる学年別・教科別ガイドー(環境省)」の活用</p> <p>⑤ 特別な支援を要する児童への支援体制の構築            ア 不登校気味な児童・学習の遅れ気味な児童への全校での支援体制の確立            ○個別の指導計画作成と退職教員の活用等            ○学級担任と特別支援学級担任との連携と機能化</p>

	<p>イ 特別な支援を要する子どもの実態把握と校内委員会の適切な開催</p> <p>⑥ 外国語活動の推進・充実（T1を担任が務め、ALTを効果的に活用した授業）</p> <p>⑦ コミュニケーション能力育成のため、1年から4年までのALTの活用</p>
<p>思 い や り の あ る 子</p>	<p>命の大切さや思いやりの心、善悪の判断や公共心などの規範意識、正義感や公正・公平を重んじる心、美しいものに感動する豊かな感性、自立心、自己抑制力、共生の心など、「豊かな心」を道徳の授業を要として、全教育活動で育成する。</p> <p>① 道徳教育の充実</p> <p>ア 道徳教育推進教諭を中心とした授業改善</p> <p>イ 道徳の授業時間を全校一斉に設定</p> <p>ウ 授業への地域人材の活用（年に1回程度）</p> <p>エ 授業参観等における道徳授業の公開</p> <p>オ 心のノートの計画的な活用</p> <p>② 言葉を大切にす指導</p> <p>③ 凡事徹底事項の推進</p> <p>④ 基本的な生活習慣の育成</p> <p>ア 規則正しい生活リズムの確立</p> <p>イ 家庭学習の習慣化</p> <p>⑤ 体験活動・ボランティア活動の推進</p> <p>ア 各教科等において、体験活動の推進・充実</p> <p>イ 朝の清掃活動・低学年への応援、クリーンアップ作戦・地域行事への参加・清掃活動、高齢者との関わり等の積極的な推進</p> <p>⑥ 幼稚園と連携した教育課程の実施（低学年）</p>
<p>明 る く 健 康 な 子</p>	<p>生きる力を支える体力の向上のため、家庭や地域社会との連携を図り、自ら進んで運動に親しむと共に健康で安全に過ごす資質や能力を全教育活動で育成する。</p> <p>① 安心・安全な環境づくり</p> <p>ア 子ども達の細かな健康観察の実施（一人一人を呼名すること）</p> <p>イ 毎月の安全点検の迅速な実施と対策、情報の共有化</p> <p>ウ 通学路等の安全点検の実施</p> <p>エ PTAによる自転車の安全点検の実施</p> <p>オ <u>不審者対応のための、門扉の閉鎖の実施</u></p> <p>カ 交通少年団活動による意識の向上</p> <p>キ 民生委員児童委員とのネットワークの構築化や「子ども110番」との連携</p> <p>ク 情報モラルの推進・充実</p> <p>② 健康教育の充実</p> <p>ア 食に関する指導の推進</p> <p>イ 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育や性（エイズ）教育の実施</p> <p>ウ 栄養士等を活用した食に関する指導の推進（各学年1回程度）</p> <p>エ 保健主事を中核として、学校医・学校歯科医・学校薬剤師、保護者による学校保健委員会開催、健康課題の解決を図る。</p> <p>③ 教科体育の充実</p>

- ア 個々の能力にそった目標を設定した「めあて学習」の実施
- イ 伝統文化の踊りや空手等の行事等への積極的な取り入れ
- ウ 安全指導の徹底

(2) 各教科・生徒指導等との関連

	項 目	強化事項
教 科	① 「わかる喜び」「できる喜び」の成就感・自己肯定感を実感させる授業づくりのために、計画的な形成評価を実施し指導→評価→指導の充実を図る。	
	② 学習課題とまとめの一体化	
	③ 「確かな学力の向上」支援プラン・「学びのみやこ」・「全国学力・学習状況調査において特徴ある結果を示した学校における取り組み事例集」等の活用を図る。	
	④ 教師は正しい言語で話し、正確で丁寧な文字で板書したり、話し言葉が適切に行われるように、言語環境の整備に努める。	
	⑤ 児童の実態・学習内容に応じた学習形態の工夫	
	⑥ 自分の考えをわかりやすく発表するための手法や発表力の育成	
	⑦ ICT等を活用した授業改善	
	⑧ 体験的な学習活動を取り入れた授業展開（環境教育との関連取り組みも）	
	⑨ 学習用具の準備や学習のきまり等の学習規律の確立	
	⑩ 学校図書館の活用と読書意欲の向上	
	⑪ 授業（本時）と授業（次時）をつなぐ宿題の与え方の工夫	
	⑫ 外国語活動において、ALT（T2）の効果的な活用	
道 徳	① 道徳教育推進教諭の校務分掌の位置づけにより、道徳の時間を要にした授業の充実	
	② 道徳の授業時間を全校一斉に設定し、規範意識等の充実を図る。	
	③ 地域人材等のゲストティチャーとして、開かれた道徳教育の充実を図る。	
	④ 授業参観等における道徳授業の公開	
	⑤ 心のノートの計画的な活用	
	⑥ 体験的な授業の展開	
	⑦ 人権に対する理解と意識の高揚を図る工夫	
	⑧ 平和教育の充実	
特 別 活 動	① 命の大切さや社会や集団の一員としての自覚の育成	
	② 行事等への主体的な参加意欲の育成	
	③ 話し合い活動の充実を図り、学級活動を通して、自主的な問題の解決や健全な生活態度等の育成を図る。	
	④ 一人一人の児童のよさの発見（係り活動・役割分担等）	
	⑤ 地域や他校の児童、幼稚園との交流を深め、豊かな心を育てる工夫	
	⑥ クラブ活動の推進（年間8時間程度実施） ア 個性を伸ばし、自主性を育てる工夫 イ 計画的活動の実践力の育成	
総 合 的 な	① 学校の特色としての、地域の素材を活用した単元開発の工夫	
	② 各学年の発達段階に応じた単元設定の工夫改善 ○ 6年生の保護者等の職場見学等の実施 ○ 5年生のマングローブの教材化	

学習の時間	③ 教科との関連を図る展開と教科の基礎基本を生かした展開 ④ 情報教育における情報モラルの推進 ⑤ 食育と体験活動の関連を図る取り組み ⑥ <u>環境教育の計画的な取り組み</u>
生徒指導	① 「わかる喜び」「できる喜び」の成就感・自己肯定感を実感させる授業づくりに努め、個に応じた指導の充実を図る。 ② 学級経営・学年経営の充実を図り、一人一人の児童の居場所づくりに努める。 ③ 基本的な生活習慣の形成 ア 生活目標の重点化及び徹底      イ 家庭・地域との連携 ④ 凡事徹底事項の推進 ⑤ 生徒指導委員会の定期的開催による情報の共有化 ⑥ 中学校との連携の強化
学力向上対策	保護者・地域との連携による「授業改善プラン」の推進・充実 ① 学校の取組 確かな学力の向上のための授業改善の実施 ② 家庭・地域の取組 ア 基本的な生活習慣の形成 イ 家庭学習・読書の習慣化 ウ わが家の約束等の規範意識の高揚 ③ 保護者・地域とのコミュニケーションの深化 ④ 部活動の指導者及び保護者会との連携

## 6 本年度の重点スローガン

言葉（相手の気持ちを想像しよう）	きれいな学校（掃除・整理整頓）	元気な学校（あいさつ・返事）
------------------	-----------------	----------------

### ○元気な学校

元気なあいさつと元気な返事により、コミュニケーション能力の第一歩の育成と安心安全な学校づくりの基礎を培う。

### ○きれいな学校

自分達の学校は自分達できれいにし、お客様にほめてもらい、夢や目標の火種を灯すきっかけにする。

### ○言葉を大切にしている学校

毎年の子どものアンケートから、言葉による不快な思いをしているとの回答が多い。「相手がいやがるであろう」と想像する力と他人を思いやる等、お互いの人権を大切にする意識を育てる。そのための人的・物的な言語環境の整備に努める。

